

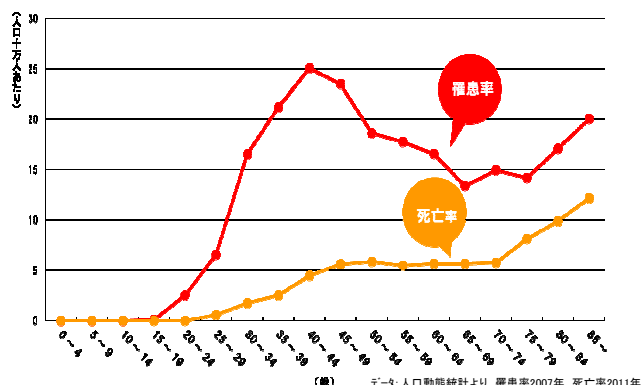
# 子宮頸がんを知って予防しましょう！

## 子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、年間18,000人が罹患し、約2,700人が死亡する病気です。近年は、20～30代の若い人にも急激に増えています。

定期的な検診を受けることで、子宮頸がんで、命や子宮を失うことは避けられるのです。

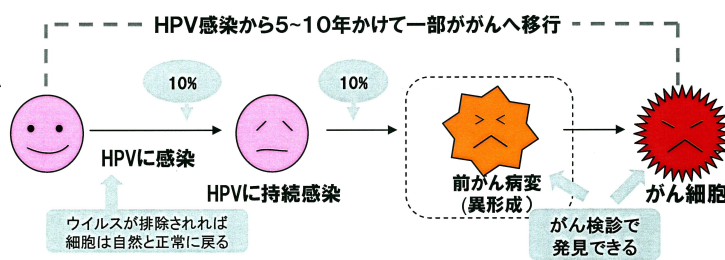
子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)



## 子宮頸がんは「早期発見」ではなく「予防」できるがんです！

子宮頸がんの原因となるのが、HPV(ヒトパピローマウイルス)への持続感染です。主に性交渉で感染し、女性の約8割が一生に一度は感染すると言われていて、ごくありふれたウイルスです。

がんになる前の段階(前がん病変)で発見ができ、治療することでがんになることを防げます。



## 最近検診を受けていますか？

子宮頸がん検診をいつ受けましたか？

定期的な検診が大切だとわかってはいても、婦人科へはなかなか行きにくいものですね。出産後、足が遠のいている方も多いのではないのでしょうか。

また、最近話題のHPVワクチンを接種した方も、今後子宮頸がんにかからない、ということはありません。ワクチンと検診の両方で予防効果があるのです。

若い方も、子育て中の方も、働き盛りの方も、子育てやお仕事を卒業された方も、必ず定期的に検診を受けてください。

さて、あなたはいつ検診に行きますか？ “今” でしょう！！

### ★こんな人は子宮頸がんにご注意！★

- 月経以外に出血がある
- 初体験の年齢が低い
- たばこを吸う(非喫煙者と比較して2.3倍のリスク)
- おりものの異常がある
- 性交渉の相手が複数いる

当健康保険組合でも、毎年秋に子宮頸がん検診を郵送式で実施しています。年に一度は受診してください。